docomo

GALAXY Tab 7.0 Plus SC-02D

クイックスタートガイド

詳しい操作説明は、SC-02D に搭載されている「取扱説明書」アプリ（e トリセツ）をご覧ください。

はじめに

「SC-02D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

本端末の操作は、本書のほかに、本端末用の取扱説明書アプリケーションである「取扱説明書」で、さらに詳しく説明しています。

■「クイックスタートガイド」(本書)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

■「取扱説明書」(本端末のアプリケーション)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- 本端末のホーム画面で ▦→「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリケーションのダウンロードとインストールをする必要があります。

■「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ドコモのホームページでダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
  ※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です(P.41)。

(例)ディスプレイのホーム画面から、 をタップして、 (Google検索アイコン)をタップする場合は、以下のように記載しています。

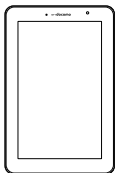
1 ホーム画面で → 「検索」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、ホーム画面にショートカットがあらかじめ追加されているアプリケーションの起動を、ショートカットをタップする操作手順で記載しています。
- 本書では、「SC-02D」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

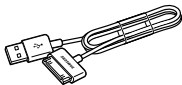
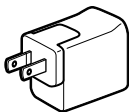
本体付属品／試供品について

■ 本体付属品

SC-02D（保証書含む）

クイックスタートガイド(本書)

ACアダプタ SC02
（保証書含む）

USB接続ケーブル SC01

■ 試供品

microSDカード（1GB）

マイク付ステレオヘッドセット

- 試供品の詳細について → P.72

目次

本端末のご利用について

- 本端末は、W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、FOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。

- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。ホーム画面で ▦ →「設定」→「端末情報」→「ステータス」をタップします。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます(P.84)。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebookなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットI以外のプロバイダはサポートしておりません。

- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングの初期設定では、外部機器と本端末間でパスワードなどのセキュリティは設定されていません。任意のパスワードなどの設定をお勧めします。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ **危険**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ **「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。**

1.本端末、ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)、ドコモUIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するACアダプタ(USB接続ケーブル含む)は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やヘッドホン接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をACアダプタ(USB接続ケーブル含む)に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行うと、本端末やACアダプタ(USB接続ケーブル含む)の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面にはITOフィルム、カメラのレンズの表面にはアクリル樹脂部品を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について → P.19「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

---

3. ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

USB接続ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態でUSB接続ケーブルの30ピンプラグをショートさせないでください。また、USB接続ケーブルの30ピンプラグに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

USB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタ(USB接続ケーブル含む)のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ:AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、USB接続ケーブルのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

---

4. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6.材質一覧

使用箇所	使用材質
表面／ディスプレイパネル	強化ガラス※1
外装ケース（周囲）	側面:PC+ガラス繊維20%※2
	背面:PC※3
ヘッドホン接続端子	SUS※4
音量小／大ボタン、電源ボタン	PC※3
ドコモUIMカードスロット／microSDカードスロット	SUS
ドコモUIMカードスロットカバー／microSDカードスロットカバー	PC+ウレタン※3
リアカメラレンズパネル	アクリル樹脂
カメラレンズ周囲部分	アルミニウム※5
フラッシュパネル	PC
外部接続端子	SUS
スピーカーグリル	SUS
レシーバーグリル	SUS※6
赤外線パネル	PC

※1 ：表面処理I／Fコーティング
※2 ：表面処理ウレタンコーティング
※3 ：表面処理UVコーティング
※4 ：研磨仕上げ
※5 ：表面処理アルマイト
※6 ：塗装処理

7.試供品(microSDカード(1GB)、マイク付ステレオヘッドセット)の取り扱いについて

⚠ 危険

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠ 注意

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

■ microSDカード

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形やデータの消失、故障の原因となります。

禁止

曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

金属端子部分に手や導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)で触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

microSDカードへのデータの書き込み/読み出し中に、振動/衝撃を与えたり、電源を切ったり、機器から取り外したりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。

禁止

マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ 水をかけないでください。

本端末、ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)、ドコモ UIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃~35℃、湿度は45%~85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はドコモUIMカードスロットカバー、microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度(5℃～ 35℃)の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- 電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)についてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度(5℃～ 35℃)の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、外部接続端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能（2.4GHz帯）が使用する周波数帯、変調方式、想定される与干渉距離、および周波数変更の可否は、次のとおりです。

使用周波数帯域	2400MHz帯
変調方式と想定される与干渉距離	FH-SS方式:10m以下 DS-SS方式:40m以下 OFDM方式:40m以下
周波数変更の可否	2400MHz ～ 2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

■ 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯の使用チャンネルについて
本端末は、5GHzの周波数帯において、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。

- W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

試供品（microSDカード（1GB）、マイク付ステレオヘッドセット）についてのお願い

microSDカード、マイク付ステレオヘッドセット

■ 水をかけないでください。
microSDカード、マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

マイク付ステレオヘッドセット

■ 本端末からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の電子銘版に表示されております。電子銘板は、本端末で以下の操作を行うことでご確認いただけます。

ホーム画面で ▦ →「設定」→「端末情報」→「認証」

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

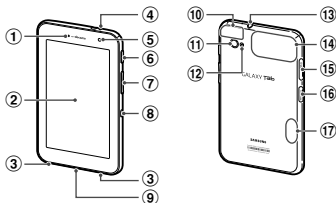
運転中の本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

① 照度センサー
② ディスプレイ（タッチスクリーン）
③ スピーカー
④ 送話口
⑤ フロントカメラ
⑥ ⓘ 電源／終了ボタン
- 2秒以上押して、本端末の電源を入れます。
- 手動で画面ロックを設定できます。
- 1秒以上押すと、端末オプション画面が表示されます。電源を切ったり、マナーモードや機内モードを設定したりすることができます。
- 10 〜 15秒押すと、強制的に再起動します。

⑦ 音量小ボタン／ 音量大ボタン
⑧ 赤外線ポート
⑨ 外部接続端子
⑩ Bluetooth ／ GPSアンテナ部※
⑪ リアカメラ
⑫ フラッシュ
⑬ ヘッドホン接続端子

⑭ FOMAアンテナ部※
⑮ ドコモUIMカードスロット
⑯ microSDカードスロット
⑰ Wi-Fiアンテナ部※
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモUIMカード

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。

- FOMAカード(青色)をお使いの場合、海外で本端末を利用することはできません。FOMAカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

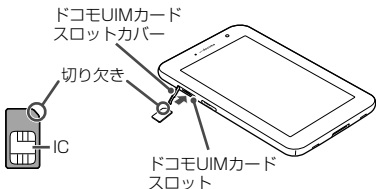
ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています。

ドコモUIMカードの取り付け／取り外し

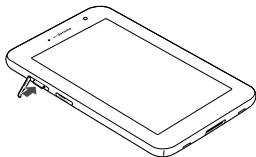
- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください(P.40)。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 ドコモUIMカードスロットカバーのミゾに指先をかけて開き、ドコモUIMカードを図の向き(IC面が下)で「カチッ」と音がするまでドコモUIMカードスロットの奥に差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

ドコモUIMカードを取り外すとき、ドコモUIM カードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

1 ドコモUIMカードスロットカバーのミゾに指先をかけて開き、ドコモUIMカードを「カチッ」と音がするまで軽く押し込む

- ドコモUIMカードが少し出ます。

2 ドコモUIMカードをまっすぐ引き出す

お知らせ

- ドコモUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようにご注意ください。

microSDカード

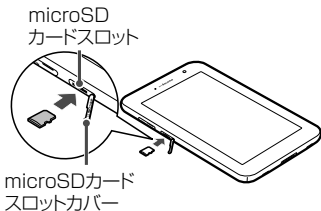
本端末は、microSDカード(microSDHCカードを含む)を取り付けて使用することができます。

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています(2013年1月現在)。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- 対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。

microSDカードの取り付け/取り外し

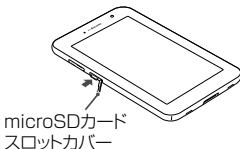
microSDカードを取り付ける

1 microSDカードスロットカバーのミゾに指先をかけて開き、microSDカードの金属端子面を下にして、矢印の向きにスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む

- 正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外すとき、microSDカードが本端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

1 microSDカードスロットカバーのミゾに指先をかけて開き、本端末に取り付けられているmicroSDカードを軽く押し込む

- microSDカードが少し出ます。

2 microSDカードをまっすぐ引き出す

充電

付属のACアダプタSC02とUSB接続ケーブルSC01を使って充電する方法を説明します。

- お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタとUSB接続ケーブルで充電してからお使いください。
- ACアダプタの電源プラグ部分に強い力をかけないでください。電源プラグ部分が外れることがあります。
- USB接続ケーブルのプラグは、無理な力がかからないよう水平にゆっくり抜き差ししてください。

1 本端末の外部接続端子にUSB接続ケーブルを30ピンプラグの「SAMSUNG」の印字面を上にして差し込む

2 USB接続ケーブルのUSBプラグを、⭠⭢ の印字面を上にしてACアダプタへ矢印の方向に差し込む

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電が完了すると、 が表示されます。

4 充電が完了したら、30ピンプラグを本端末から引き抜く

5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから引き抜く

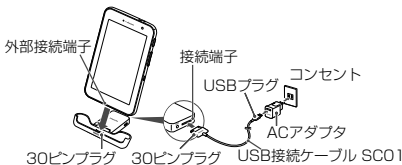
6 USB接続ケーブルのUSBプラグをACアダプタから引き抜く

お知らせ

- 本端末の電源を切った状態か、画面の表示が消えている状態で、本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続しても、本端末を充電できます（本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります）。
- USB接続で充電するとき、パソコン上に「同期セットアップウィザード」画面などが表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

卓上ホルダを利用して充電する

卓上ホルダSC04（別売）と付属のUSB接続ケーブルSC01、ACアダプタSC02を使って、本端末を充電する方法を説明します。

- USB接続ケーブルのプラグは、無理な力がかからないよう水平にゆっくり抜き差ししてください。

1 本端末を卓上ホルダに接続する

- 本端末の外部接続端子に、卓上ホルダの30ピンプラグをしっかりと差し込んでください。

2 卓上ホルダの接続端子にUSB接続ケーブルの30ピンプラグを「SAMSUNG」の印字面を上にして差し込む

3 USB接続ケーブルのUSBプラグを、⭠ の印字面を上にしてACアダプタへ矢印の方向に差し込む

4 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

5 充電が完了したら、USB接続ケーブルの30ピンプラグを卓上ホルダから引き抜く

6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

7 USB接続ケーブルのUSBプラグをACアダプタから引き抜く

8 手で卓上ホルダを押さえながら本端末の上部をしっかりと手で持ち上げ、本端末を取り外す

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 電池残量が全くない場合は、2〜3分間充電しないと電源が入りません。

1 ⓘ を2秒以上押す

起動画面が表示されます。

- ドコモUIMカードを取り付けずに電源を入れた場合は、ステータスバーに取り付けを促すメッセージが表示されます。

2 画面をスワイプして画面ロックを解除する

電源を切る

1 ⓘ を1秒以上押す

2 「電源OFF」→「OK」

画面ロック

画面の表示が消えると約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

- 画面表示中に ⓘ を押しても画面ロックを設定できます。

ロックを解除する

1 ⓘ を押し、画面をスワイプして画面ロックを解除する

基本操作

タッチスクリーンの使いかた

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作します。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする
表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します(タップ)。また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します(ダブルタップ)。

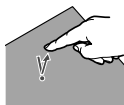
■ ロングタッチする
表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグ(スライド)する
表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。

■ スクロールする
表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする
表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める
表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。

操作例

タップ

ドラッグ(スライド)

2本の指の間隔を広げる／狭める

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

1 ホーム画面で [アイコン] →「設定」→「ディスプレイ」

2 「画面の自動回転」にチェックを付ける

画面の表示内容を画像として保存する

ステータスバーの [アイコン] → [アイコン] をタップすると、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンキャプチャ)できます。スクリーンキャプチャした画面は、加工して保存できます。

- 画面によってはスクリーンキャプチャができない場合があります。

お知らせ

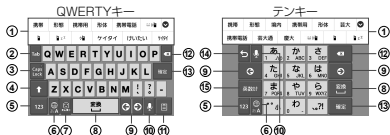
- キャプチャした画像は、本端末内の「Screenshots」フォルダに保存されます。
- [アイコン] をロングタッチすると、画面を加工せずに保存します。また、クリップボードにも画面が保存されます。
- [アイコン] (電源ボタン)と [アイコン] (音量小ボタン)を同時に1秒以上押しても、現在表示されている画面を画像として保存できます。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示します。
ここでは、「Samsung日本語キーパッド」で文字を入力する方法について説明します。

Samsung 日本語キーパッドで入力する

Samsung日本語キーパッドは、「QWERTYキー」と「テンキー」の2種類のキーボードを利用できます。

- QWERTYキー：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。
- テンキー：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップします。

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
② 文字の位置を揃えたり、次の入力欄に移動したりします。
③ Caps LockをON／OFFにします。
④ 大文字と小文字を切り替えます。
⑤ 数字入力モードに切り替えます。
⑥ 入力モード（ひらがな漢字入力モード／半角英字入力モード）を切り替えます。
⑦ 絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。
⑧ 通常変換候補を表示します。
⑨ カーソルを左または右に移動します。
⑩ 音声入力に切り替えます。
⑪ クリップボードを表示します。
⑫ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
⑬ 入力した文字を確定します。
⑭ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。
⑮ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って以下の手順で使用する言語やGPSの位置情報の設定などを行います。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「開始」

- 言語を変更する場合は、「日本語」→ 使用する言語をタップします。

2 Googleアカウントを設定

- 「今は設定しない」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

インターネットに接続されていない場合

画面の指示に従ってWi-Fiを設定（P.45）してGoogleアカウントを設定するか、後で設定を行う操作をしてください。

3 Google＋に参加するかどうかを設定

4 Google Playで購入可能にするかどうかを設定

5 Googleアカウントを使用して、復元やバックアップを行うかどうかを設定 →「次へ」

6 Google位置情報の利用を許可するかどうかを設定 →「次へ」

7 このタブレットの所有者を入力 →「次へ」

8 「完了」

Wi-Fiネットワークに接続する

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、または公衆無線LANサービスなどの無線アクセスポイントに接続できます。

1 ホーム画面で ▦ →「設定」→「Wi-Fi」
- Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」をONにする
- 利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。
- ネットワークが表示されない場合は「スキャン」をタップすると再度検索できます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ→「接続」
- セキュリティで保護されているWI-Fiネットワークに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。
- 入力したパスワードは「・」で表示されます。「パスワードを表示」にチェックを付けると、パスワードを表示できます。

静的IPアドレスを使用する場合

「拡張オプションを表示」にチェックを付ける →「IP設定」欄 →「静的」→「IPアドレス」、「ゲートウェイ」、「ネットワークプレフィックス長」、「DNS1」、「DNS2」を設定します。

お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がございますのでご注意ください。

Wi-Fiネットワークの接続を切断する

1 Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fiネットワークをタップ →「切断」

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器、無線LAN対応機器をインターネットに接続させることをいいます(USBテザリング、Wi-Fiテザリング)。

- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

USBテザリングを設定する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC01と接続し、インターネットに接続することができます。

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブル SC01で接続する

2 ホーム画面で ▦ →「設定」→「その他...」→「テザリング」

3 「USBテザリング」にチェックを付ける

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をポータブルWi- Fiホットスポットとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で ▦ →「設定」→「その他...」→「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」にチェックを付ける

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

お知らせ

- USBテザリングを行うには、専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.samsung.com/jp/support/download.html
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7、Windows 8

mopera U

mopera U はNTT ドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で ▦ →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 「mopera U（定額データプラン）」／「mopera U（スマートフォン定額）」／「mopera U設定」の ● （グレー）をタップして ● （緑）にする

- mopera Uが利用するアクセスポイントとして設定されます。

お知らせ

- 「mopera U（定額データプラン）」をご利用の場合、定額データプランのご契約が必要です。mopera U（定額データプラン）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Samsungアカウントについて

Samsungアカウントを設定すると、SIM変更アラートを設定できるようになります。また、SamsungDiveを利用して、本端末をリモートコントロールすることもできます。

- ホーム画面で ▦ →「設定」→「アカウントと同期」→「アカウントを追加」→「Samsungアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.samsungdive.com

お知らせ

- Samsungアカウントを設定すると、「工場出荷状態に初期化」(P.80)を実行できません。「工場出荷状態に初期化」を実行する場合は、Samsungアカウントを削除してから操作してください。
- 設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- SamsungアカウントのIDやパスワードを忘れた場合は、設定メニュー画面で「セキュリティ」→「SamsungDive Webページ」をタップしてSamsungDiveにアクセスし、「ログイン」→「電子メールまたはパスワードを取得してください」を選択します。画面の指示に従うと、ID/パスワードの検索や、パスワードを変更することができます。

連絡先をインポート／エクスポートする

docomoアカウントやGoogleアカウント、ドコモUIMカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。

1 ホーム画面で ▦ →「電話帳」→「電話帳」タブ → ☰ →「インポート／エクスポート」

2 次の操作を行う

連絡先をインポートする場合

- 「ユーザーメモリ（本体）／SDカードからインポート」／「外部SDカードからインポート」／「SIMカードからインポート」をタップします。インポート先を「docomo」、「本体」、またはオンラインサービスのアカウント（ログインしている場合）から選択できます。
- 「SIMカードからインポート」を選択した場合はインポート先をタップし、インポートしたい連絡先にチェックを付ける／「全てを選択」にチェックを付ける →「完了」をタップします。

連絡先をエクスポートする場合

- 「ユーザーメモリ（本体）にエクスポート」／「外部SDカードにエクスポート」／「SIMカードにエクスポート」をタップします。
- 「SIMカードにエクスポート」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先にチェックを付ける／「全てを選択」にチェックを付ける →「完了」をタップします。

お知らせ

- 「SIMカードにエクスポート」を実行すると、1件目の電話番号、Eメールアドレス以外は削除されます。

ホーム画面

本端末の電源を入れて起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面の表示内容

① **本端末内やインターネットの情報を検索します。**

② **ホーム画面の位置が表示されます。**
  - 5枚のホーム画面が用意されており、左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

③ **アプリケーション画面を表示します（P.56）。**

④ **ホーム画面のカスタマイズ画面で登録したウィジェットやアプリケーションのショートカットなどが表示されます。**

お知らせ

- ウィジェットやショートカットは、任意のホーム画面に追加できます。

ホーム画面をカスタマイズする

任意のホーム画面にウィジェットやアプリケーションのショートカットなどを追加したり、ホーム画面やロック中画面の壁紙を変更したりできます。

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチする

2 操作する項目を選択する

ショートカット／ウィジェット／フォルダ／ページを追加する場合

「アプリとウィジェット」／「フォルダ」／「ページ」→追加の操作を行います。

壁紙を変更する場合

「壁紙を設定」→「ホーム画面」／「ロック画面」／「ホーム画面とロック画面」→ 変更したい画像をタップします。

ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する場合

ホーム画面で各アイコンをロングタッチ → ドラッグして移動します。削除するには、画面右上の「削除」までドラッグし、各アイコンが赤く表示されたら離します。

ステータスバー

ディスプレイ下部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

① **直前に表示していた画面に戻ります。また、アプリケーションを終了します。**
- ∨ と表示されているときは、キーボードなどを消します。

② **ホーム画面に戻ります。**
- ロングタッチすると、タスクマネージャーを起動します。

③ **最近利用したアプリケーションを表示します。**

④ **画面の表示内容を画像として保存します。**

⑤ **表示中のアプリケーションの状態に応じたオプションメニューを表示します。**
- オプションメニューが表示されないアプリケーションもあります。

⑥ **操作中のアプリケーションを表示しながら起動できるミニアプリケーションの一覧を表示します。ミニアプリケーションには、Eメール、SMS、Sプランナー、アラーム、ダイヤル、ペンメモ、世界時計、電卓、音楽プレーヤー、タスクマネージャーがあります。**

⑦ **通知情報があるときに通知アイコンが表示されます。**
- タップすると、設定／通知パネルを表示できます。

⑧ **時刻と本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。**
- タップすると、設定／通知パネルを表示できます。

■ 設定／通知パネル

ステータスバーの時刻表示やステータスアイコンをタップすると、現在の日時の確認や各種機能ON／OFFの設定、ディスプレイの明るさの設定、通知情報の確認などが行えます。

- ON／OFFの設定は、Wi-Fi機能、GPS機能、サウンド／バイブレーション、ディスプレイの自動回転、省電力モード、通知情報の表示、データ通信、Bluetooth機能、アカウントの自動同期について設定できます。左右にスライドすると、非表示の設定項目を表示できます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	通話中		データダウンロード中／アプリケーションダウンロード中
	保留中通話あり		データアップロード中／完了
	不在着信あり		Picasaなどにデータアップロード完了
	Bluetoothデバイス（ヘッドセットなど）で通話中		留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	新着Gmailあり		Sプランナーなどのアラームあり
	新着Eメールあり		バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
	新着SMSあり／SMSの送達通知あり		USB接続中
	SMSの配信に問題あり		エラーメッセージあり
	新着インスタントメッセージあり		アプリケーションのインストール完了
	Googleマップナビでナビゲーション中		Pulseの新着ニュースあり

	キーボード表示中		GPS機能現在地測位中（中心の丸が点滅）
	USBテザリング機能ON		画面を拡大表示できるアプリケーションを表示中
	Wi-Fiテザリング機能ON／Wi-Fi Direct利用中		USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能を同時にON
	VPN接続中（未接続時は濃いグレー）		AllShare起動中
	省電力モード設定中		本端末の空き容量低下

■ 主なステータスアイコン

	電波レベル(電波の強弱に合わせて青いバーが増減します)		Wi-Fi使用可能
	電波レベル(国際ローミング中)		Wi-Fi通信中※1
	圏外		Bluetooth機能有効
	GPRS使用可能※1		Bluetoothデバイスと接続中
	GPRS通信中※2		機内モード設定中
	FOMAハイスピード使用可能※1		電池レベル(電池残量に合わせて緑色の部分が増減します)
	FOMAハイスピード通信中※1		電池レベル･低
	3G使用可能※1		充電中※2
	3G通信中※1		アラーム設定中

※1 待機中は矢印がグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色で表示されます。

※2 パソコンと接続中、画面が表示されていると が表示され、充電できません。

アプリケーション画面

本端末の機能やアプリケーションは、アプリケーション画面にアイコンで表示され、タップして起動したり、設定を確認したりすることができます。

1 ホーム画面で ▦

① タブが表示されます。
   - 「アプリ」／「ウィジェット」タブをタップすると、本端末のアプリケーション／ウィジェットが一覧表示されます。

② Google Playなどからダウンロードしたアプリケーションが一覧表示されます。

③ Google Playを表示したり、アプリケーション画面の表示方法を変更します。

④ **アプリケーションやウィジェットのアイコンが表示されます。**
- アイコンをロングタッチすると、縮小表示されたホーム画面が表示され、アイコンをドラッグするとドラッグした位置のホーム画面にショートカットを追加できます。

⑤ **アプリケーション画面の表示位置が表示されます。**

ロック／セキュリティ

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「•」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ **画面ロック用PIN／パスワード**

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なおdメニューからは、dメニュー → 「お客様サポート」※ → 「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※ 「My docomo」、「お客様サポート」については、P.96をご覧ください。

■ PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。

■ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

1 ホーム画面で ▦ →「設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」にチェックを付ける → PINコードを入力 →「OK」

PINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続して間違えるとPINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 PINロック中画面で、「PUKコード」にPINロック解除コード（8桁）を入力する

2 「新しいPINコード」欄をタップ →「新しいPINコード」欄に新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度新しいPINコードを入力 →「OK」

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除方法で画面ロックを解除しなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で ▦ →「設定」→「セキュリティ」→「画面ロック」

2 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って操作／入力

「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の文字で設定してください。

電話／メール／ウェブブラウザ

電話

電話をかける

1 ホーム画面で「ダイヤル」→「キーパッド」タブ

2 相手の電話番号を入力する
- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

3 [通話ボタン]
- 通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 通話中画面では次の操作ができます。
  - [保留]※／[再開]※：通話を保留／保留解除します。
  - 「通話を追加」※：別の相手に電話をかけます。
  - 「キーパッド」：キーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。
  - 「消音」：自分の声を相手に聞こえないようにします。
  - 「ヘッドセット」：Bluetooth デバイスと接続してハンズフリーで通話します。

  ※「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。
- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に[音量大]（音量大）／[音量小]（音量小）を押します。
- 通話中画面は、操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。[電源キー]を押すと、通話中画面を表示できます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防･救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は､｢緊急通報位置通知｣に対応しております｡110番､119番､118番などの緊急通報をかけた場合､発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます｡お客様の発信場所や電波の受信状況により､緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります｡位置情報を通知した場合には､ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます｡なお､｢184｣を付加してダイヤルするなど､通話ごとに非通知とした場合は､位置情報と電話番号は通知されませんが､緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から､必要であると判断した場合は､お客様の設定によらず､機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります｡また､｢緊急通報位置通知｣の導入地域／導入時期については､各緊急通報受理機関の準備状況により異なります｡
- 本端末から110番､119番､118番通報の際は､携帯電話からかけていることと､警察･消防機関側から確認などの電話をする場合があるため､電話番号を伝え､明確に現在地を伝えてください｡また､通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し､通報後はすぐに電源を切らず､10分程度は着信のできる状態にしておいてください｡
- かけた地域により､管轄の消防署･警察署に接続されない場合があります｡
- 日本国内では､ドコモUIMカードを取り付けていない場合､緊急通報110番､119番､118番に発信できません｡

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

- 着信中の画面が表示されます。

2 **をタッチすると表示される円の外側までドラッグする**

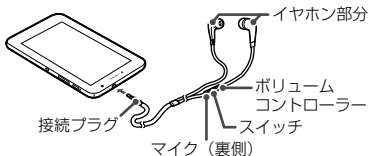
着信拒否する場合

をタッチすると表示される円の外側までドラッグします。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

■ マイク付ステレオヘッドセット(試供品)の取り付けかた

以下のようにマイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込みます。

- マイク付ステレオヘッドセットの取り付け時には、接続プラグをヘッドホン接続端子の奥まで正しく差し込んでください。

■ マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す**

電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

- 通話相手の声の音量(通話音量)を調節するには、通話中にボリュームコントローラーの「+」または「−」を押します。

2 **通話が終了したら、再度スイッチを押す**

発着信履歴

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「ダイヤル」→「履歴」タブ

- 履歴画面が表示されます。

：着信／受信履歴	：発信／送信履歴
：電話	：SMS
：不在着信履歴	：着信拒否履歴／拒否リストからの電話

2 かけたい相手をロングタッチする

3 「発信」

電話帳

電話帳に登録する

電話帳に名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報を登録できます。

1 ホーム画面で ▦ →「電話帳」

2 ＋ → 保存先をタップする

3 必要な項目を入力する

4 「保存」

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

- microSDカードが外されていたり、利用できない場合は内部ストレージに保存されます。

1 microSDカードを本端末に取り付ける

2 ホーム画面で ▦ →「電話帳コピーツール」
- 初めてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 画面上部のタブをタップする
- 各機能のタブ画面に切り替わります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 「エクスポート」タブ画面で「開始」
- docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップ →「上書き」／「追加」

- インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップ →「上書き」／「追加」

- コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。
- 「本体」に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名(電話番号など)が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、「Backup」で作成したファイルは読み込むことができません。
- ▤ →「ヘルプ」/「バージョン情報」をタップすると、使い方などのヘルプやバージョン情報を見ることができます。
- 電話帳コピーツールについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 電話帳コピーツールで作成(エクスポート)した電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。

利用できる主なネットワークサービス

本端末では、ドコモの主なネットワークサービスをご利用いただけます。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み方法については、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 詳細は、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料

※「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

メール

spモードメール

iモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」→ 画面の指示に従ってspモードメールをインストールする

メッセージ(SMS)

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字(半角英数字のみの場合は160文字)まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

1 ホーム画面で ▦ →「SMS」

Eメール

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

1 ホーム画面で ▦ →「Eメール」

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

1 ホーム画面で ▦ →「Gmail」

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

■ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- 着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（バイブ／サイレント）設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で → 「エリアメール」

2 確認したいエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 緊急速報「エリアメール」画面で → 「設定」

2 項目を設定する

項目		説明
受信設定		エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	鳴動時間	着信音の鳴動時間を設定します。
	マナーモード時設定	マナーモード(バイブ／サイレント)設定時も着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認		受信画面と着信音を確認します。
その他の設定	受信登録※	緊急地震速報、津波警報、災害･避難情報以外で利用するエリアメールの登録や削除を行います。

※ SC-02Dでは受信登録機能は利用できません。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

1 ホーム画面で「ブラウザ」

ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページが表示されます。

付録

試供品(microSD カード(1GB)、マイク付ステレオヘッドセット)

- 試供品は無料修理保証の対象外です。
- 試供品の仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

ご使用方法

■ microSD カード(1GB)

ご使用上のお願い

- 正しい取り付けかた/取り外しかたをご確認ください。無理に取り付け/取り外しを行うと、故障の原因となります。
- microSDカードをご使用の際は、必ずデータのバックアップを作成してください。microSDカードに記録されたデータの破壊、消失については、故障や損害の内容/原因に関わらず、Samsung Electronicsは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードには寿命があります。長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。
- microSDカードおよび SD変換アダプタにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け/取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。
- microSDカードを廃棄する場合は、地方自治体の規則に従って処理してください。

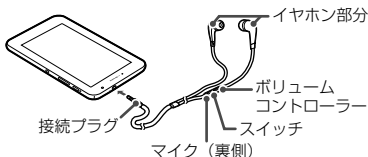
免責事項について

次の項目に該当する場合について、Samsung Electronicsは一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- microSDカードの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- microSDカードの取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- microSDカードのご使用において発生したデータの消失、破損
  - Samsung Electronicsでは、データの復旧／回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから発生した損害

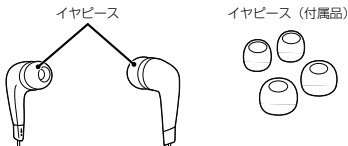
主な仕様

動作電圧	2.7V～3.6V
外形寸法	縦約15mm × 横約11mm × 厚み約1mm
質量	約0.29g

■ **マイク付ステレオヘッドセット**

1 **マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む**

- スイッチを押すと、以下の操作ができます。
  - 音楽の再生／一時停止
  - 電話を受ける／終了する
- 使い終わったら、接続プラグを持ちながら水平に引き抜いて取り外します。

イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付ステレオヘッドセットには、あらかじめ取り付けられているイヤピース以外に、サイズの異なる2種類のイヤピースが付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW
音圧感度	95±3dB/mW
サイズ	長さ約1,180mm
質量	約12.7g（本体のみ）

故障かな？と思ったら

- まず初めにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.84）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。 → P.37

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない	• ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 • ACアダプタとUSB接続ケーブル、またはUSB接続ケーブルと本端末が正しくセットされていますか。 • USB接続ケーブルでパソコンから充電する場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中·充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、付属のACアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。( ) ① を押して画面ロックを解除してください。 → P.40
ドコモUIMカードが認識しない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.32
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。自動日時設定がチェックされているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	・ ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ・ セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し､｢SAMSUNG｣が画面に表示されている間､ (音量小)を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。 ・ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・ セーフモードは通常の起動状態ではないため､通常ご利用になる場合には､セーフモードを終了しご利用ください。 ・ 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	・ ホーム画面で → 「設定」→「バックアップとリセット」→「工場出荷状態に初期化」をお試しください。

症状	チェックする箇所
画面ロックを解除できない	• 画面ロックの解除にパターン／ PIN ／パスワードが設定されていませんか。
ネットワークに接続できない	• 電波の弱い場所で使用していませんか。→ P.55
本端末が応答しない、操作できなくなった	• ( ) ⓘ を10 ～ 15秒間押してください。自動的に再起動します。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。

■ 通話

症状	チェックする箇所
電話発信ボタンをタップしても発信できない	• ドコモUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→P.32 • 機内モードを設定していませんか。→P.31

症状	チェックする箇所
通話ができない	・ 電源を入れ直すか、ドコモUIMカードを取り付け直してください。 →P.32、P.40 ・ 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（ ）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX(XXXX)が予期せず中止しました。やり直してください※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」をタップしてから再度操作してください。	−
通話にするには、機内モードをOFFにしてください。	ドコモUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをオフにしてから再度操作してください。	P.31、P.32

※ XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

端末初期化

本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。

- microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部SDカードを初期化」を行ってください。

1 **ホーム画面で ▦ →「設定」→「バックアップとリセット」→「工場出荷状態に初期化」→「端末リセット」→「全て削除」**

お知らせ

- 端末リセットを行うと、本端末に保存されている音楽や写真などのすべてのデータが削除されますのでご注意ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名･お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障･修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化･消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードやドコモUIMカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.75）をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後４年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災･けが･故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障･損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障･修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所: スピーカー、カメラ、バイブレータ部分
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理、内蔵電池の交換をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化･消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法があります。

■ ソフトウェア更新についての注意事項

- ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する
  - 本端末を充電し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、すべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

本端末でネットワークに接続して更新する

1 **ホーム画面で ▦ →「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新」**

2 **以降、画面の指示に従って操作する**
ソフトウェア更新が完了すると、本端末が自動的に再起動します。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「後で」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。延期した場合でも、「更新」をタップするとすぐにインストールを開始できます。

パソコンに接続して更新する

パソコンにインストールした「Samsung Kies」を使って本端末のソフトウェアを更新できます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については以下のホームページをご覧ください。

  http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP

1 **パソコンでSamsung Kiesを起動する**

2 **本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブルSC01で接続する**

3 **以降、パソコンの画面の指示に従って操作する**

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ **Information to User**

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your device is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the exposure limits for radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S.Government. These FCC exposure limits are derived from the recommendations of two expert organizations: the National Council on Radiation Protection and Measurement (NCRP) and the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE).
In both cases, the recommendations were developed by scientific and engineering experts drawn from industry, government, and academia after extensive reviews of the scientific literature related to the biological effects of RF energy.
The exposure limit set by the FCC for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR is a measure of the rate of absorption of RF energy by the human body expressed in units of watts per kilogram (W/kg). The FCC requires wireless devices to comply with a safety limit of 1.6 watts per kilogram (1.6 W/kg).
The FCC exposure limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection to the public and to account for any variations in measurements.
SAR tests are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to
operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.
Before a new model device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the exposure limit established by the FCC. Tests for each model of a device are performed in positions and locations (e.g. near the body) as required by the FCC.
For typical operations, this device has been tested and meets FCC RF exposure guidelines.

Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. The maximum Body-worn SAR value for this model phone as reported to the FCC is 0.983 W/kg.

FCC Radio Frequency Emission

This device meets the FCC Radio Frequency Emission Guidelines.
SAR information on this and other model devices can be viewed online at
http://www.fcc.gov/oet/ea.
To find information that pertains to this particular model device, this site uses the FCC ID number A3LSWDSC02D.
Follow the instructions on the website and it should provide values for typical or maximum SAR for a particular device.
Additional product specific SAR information can also be obtained at www.fcc.gov/cgb/sar.

European RF Exposure Information

THIS MODEL MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES
Your mobile phone is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile phone offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*. In this case, the highest tested SAR value is 0.841 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a 'handsfree' device to keep the mobile phone away from the head and body.

* When carrying the product or using it while worn on the body maintain a distance of 5 mm from the body to ensure compliance with RF exposure requirements.

Declaration of Conformity (R&TTE)

We, **Samsung Electronics**
declare under our sole responsibility that the product
Portable GSM WCDMA Wi-Fi Device :
SC-02D
to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950-1:2006+A1:2010
SAR	EN 62209-2:2010 EN 62479:2010 EN 62311:2008
EMC	EN 301 489-01 V1.8.1(04-2008) EN 301 489-07 V1.3.1(11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1(05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1(10-2010) EN 55022:2006+A1:2007 EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003
RADIO	EN 301 511 V9.0.2(03-2003) EN 300 328 V1.7.1(10-2006) EN 301 908-1 V4.2.1(03-2010) EN 301 908-2 V4.2.1(03-2010) EN 300 440-1 V1.6.1(08-2010) EN 300 440-2 V1.4.1(08-2010) EN 301 893 V1.5.1(12-2008)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,
Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK*
Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :

Samsung Electronics QA Lab.

CE0168ⓘ

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)
Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK*
2011/11/02
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi / Lab Manager

(name and signature of authorised person)

* It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、
適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「デコメール®」「公共モード」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「dメニュー」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Wi-Fi CERTIFIED®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Google Latitude」、「Google +」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DIVXビデオについて：DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて：DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。

- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- LinkedInはLinkedIn Corporationの米国またはその他の国における登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG- LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

ご契約内容の確認･変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー ⇒「お客様サポートへ」⇒「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合､｢ネットワーク暗証番号｣が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は､一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合､｢docomo ID/パスワード｣が必要となります。
※ ｢ネットワーク暗証番号｣および｢docomo ID/パスワード｣をお持ちでない方･お忘れの方は裏表紙の｢総合お問い合わせ先｣にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより､ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で本端末をご利用の際は周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

航空機内､病院内では､必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

運転中の本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に通話を終了します。

■ バイブ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード→P.31

操作音や通知音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

■ 機内モード→P.31

すべてのワイヤレス接続を無効にします。
そのほかにも、留守番電話サービス(P.67)、転送でんわサービス(P.67)などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先 〈サムスン電子ジャパン株式会社〉

072-830-6075

受付時間　午前9：00～午後5：00
（土曜日・日曜日・年末・年始・祝祭日を除く）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.
'13.1（3版）

Code No.:GH68-35972B（Rev.1.0）

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。